

事業所自己評価・ミーティング様式
1. 初期支援 (はじめのかかわり)

実施日	平成 28 年 10 月 12 日 (18 : 25～20 : 00)
メンバー	豊田・長谷川・中田・芦林・金子・千田・坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	1人	5人	11 (1)人

前回の改善計画	介護支援専門員の面接に立ち合う。可能であれば介護職員が別に面接に行く機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	数人ではあるが、実際に面接に立ち会うことができた。利用者や家族との日程調整が難しく、全員行くことができなかった。 情報提供の方法について、担当者が確認する内容と介護現場で確認してほしい内容が一致しないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	5	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		4	5	2	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		8	1	2	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	1	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者の思いや家族の思いを送迎時やコミュニケーションの中で情報収集できるようになってきた。 ・日々のミーティングの中で話し合いがもたれており、初期の頃は情報と一致しないこともあるが、その都度対応を協議できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用開始前にきちんとした時間をとって話し合いが持てていない。 ・情報収集のなかで本人の願いや家族の希望がわからないことがある。 ・面接担当者は関係性の構築を優先に行っている為、介護現場が欲しい情報を得ることができないことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・アセスメント様式を変更していく、その中で、介護現場が必要な情報を整理し可能な範囲で確認できるようにする。特に本人や家族の思いについて、一致している事もあるが不一致な事もあるので、うまく聞き出せるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 12 日 (18 : 25～20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 豊田・長谷川・中田・芦林・金子・千田・坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	4人	3人	11 (1) 人

前回の改善計画	・初期の支援同様、問い合わせの段階から、援助の開始、開始してしばらくしてからのチェックする過程を整備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアプラン作成のプロセスは出来つつあり、介護者の意見も聞き入れ、担当者会議を開催できている。しかし、初期の段階では、十分な情報が得られない場合もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1		6	4	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	3	4	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	5	5	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	5	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングを通じて本人の要望などが理解できてきて共有できている。 ・利用者の状態に変化があれば話し合いが出来ている。 ・ケアプランなどの振り返り、カンファレンスが出来ている。 ・利用者との会話の中で希望を聞き出せるようになってきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者一人ひとりの『生き方に』について、センターでどのように過ごしたいのか把握できていない。 ・これまでの暮らしの把握が出来ていない。 ・ケアプランの周知が十分でない。 ・家族の思いと本人の思いが不一致なので目標が定まっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・漠然としたゴールではなく、今の思いを実現するための目標と期間を設定する。ゴールを明確に記載したプランを作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 12 日 (18 : 25 ~ 20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 豊田・長谷川・中田・芦林・金子・千田・坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	3 人	2 人	11 (1) 人

前回の改善計画
・生活史を知る情報収集力が足りないので、情報収集の方法、コミュニケーション技法について学ぶ機会を設ける。 ・変化の場面を話し合えるように、毎日のミーティングをミニカンファレンスのような形式に変えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・毎日のミーティング内容も連絡事項からミニカンファレンスのようになってきた。利用者のこれまでの暮らしについてはまだまだ不十分である。具体的なツールを探す必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	6	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6	3	1	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	3	3	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7	3		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		5	4	1	10 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・情報交換で共有できるように努力している。 ・具体的な介助方法 (食事・排泄・入浴) は情報交換できており、個々に応じた対応が来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・生活歴、以前の暮らし方の把握は不十分である。 ・以前の暮らしには目が向かず、『今』だけを見ている事が多い。 ・自分らしい暮らしが出来ているとはいえない。 ・家族と関わる機会が少ない。 ・生活の継続支援という意味で、これまでの暮らしの把握が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・漠然とこれまでの暮らしを収集を行うのは難しいので、何を確認していくのかツールを準備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 12 日 (18 : 25 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 豊田・長谷川・中田・芦林・金子・千田・坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	5 人	4 人	11 (1) 人

前回の改善計画	・ 普段のご本人やご家族との会話の中で、友人、知人、近所の方などの情報を収集する、『関係性発見ノート』(仮称) を用意し、新たな発見したことを記入するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	「利用者本人の楽しい事 10 個」確認してそこから関係のある人や場所を確認しようとしたが、楽しいことまでしか調べられなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	6	2	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	6	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	8	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 本人と家族関係が悪い場合でも関係性が切れないように支援できている。 ・ 近隣住民や友人、地域包括支援センターと情報共有できているケースもある。 ・ 自宅での過ごし方も把握できるようになってきているケースもある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 民生委員や地域資源に関しては把握できていない。 ・ 家族関係や地域との関係も少ない方の支援が出来てない。 ・ 自宅でのどのように 1 日に過ごしているか把握できてない。 ・ 地域とのつながりまで考えて支援できていない。 ・ 一人暮らしで地域の中で孤立していると感じる方がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ キーワードを決めて家族との関係性の確認、友人知人の把握を行ってみる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 12 日 (18 : 25 ~ 20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 豊田・長谷川・中田・芦林・金子・千田・坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	8 人	1 人	1 人	11 (1) 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の公的サービス以外の資源の確認を行う。</li><li>・ミーティングを伝達事項で終わらず、その日の気づいたことを即時対応できることを話し合えるようにする。また、ミニカンファレンス形式にし、気づく意識や、情報収集の大切さを学んでいく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングでミニカンファレンスとして開催する事が増えてきている。地域資源については把握しきれていない。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	4	2	10 (1)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	4	1	9 (2)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		9	1	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	1	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・多機能のサービスについては職員間で対策を考えられている。</li><li>・一部の方は、権利擁護事業を利用できている。</li><li>・緊急時など柔軟にサービスを組み替えられている。</li><li>・地域資源の活用が出来ている利用者もおられる。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源については確認し、援助者になって頂くことは出来なかった。</li><li>・過剰なサービスになっているケースもあるのではないかと思う。</li><li>・地域資源を発見できても使用できていない。</li><li>・本人と家族にサービスに対する考えに差がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源マップを地域包括支援センターから頂き、どのようなものがあるか確認する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 8 日 (17 : 50～18 : 50)

6. 連携・協働

メンバー 豊田・黒田・三好・嶋崎・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	4 人	4 人	11 (1) 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・管理者が地域会議など出席していることをわかるようにする。</li><li>・事業所便りを作成することを検討する (個人情報保護規定でどのくらいまで作成できるか検討する。</li><li>・地域との協働というテーマで学習する機会を設ける。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に行っていることは分かったが、何が行われているのか不明であった。</li><li>・地域交流は行っているが、出来ているのか出来ていないのか (頻度など) 基準がわからない。</li><li>・夏祭りは地域の方もたくさん来ていただいた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		4		6	10 (1)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	1	7	9 (2)
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1		9	10 (1)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	3	4	10 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティアの受け入れや、保育園児との交流会、小学校の行事に参加することができた。</li><li>・担当者会議が行われている。</li><li>・地域の各団体の会議などに出席でている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の会議などの情報の開示が全員に行き届いていない。</li><li>・事業所の地域だけでなく、利用者本人が暮らしている地域行事に参加できていない。</li><li>・地域連携というテーマでの研修が出来ていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所 (ケアセンター甲南) として、今後地域とどのように関わろうとしているのか情報の開示を行って行き、事業所として協力できることは行って行く。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 8 日 (17 : 50～18 : 50)

7. 運営

メンバー 豊田・黒田・三好・嶋崎・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	5 人	5 人	11 (1) 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>運営推進会議の議事録を職員に回覧する。また、都合がつく範囲で介護職員も参加する機会を設ける。</li><li>運営推進会議の中で地域の困りごとや、具体策などを話す機会を設ける。</li><li>事業内容の運営について職員に説明する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>運営推進会議には介護職員が出席できなかった。</li><li>運営推進会議で少しずつ地域の課題が見え始めてきた。</li><li>地域に対する運営を学ぶ機会が持てなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?		5	3	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	3	1	9 (2)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	4	2	9 (2)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	4	2	9 (2)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>職員会議や個別ミーティングで意見を話す機会が持てた。</li><li>ふれあい喫茶に参加する利用者が増えてきた。</li><li>家族の要望などには可能範囲で速やかに対処できた。</li><li>地域の中に、何かを行わなければならないと考えている方を見つけることができた。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>地域の中にある事業所としての在り方を考えることができていない。</li><li>地域との関わり方がわからない。また、地域が事業所に対して何を望んでいるのかも不明である。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>運営推進会議に介護職員も参加できるようにする。</li><li>地域との関わり方を事業所(ケアセンター甲南)として考えていく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 8 日 (17:50~18:50)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 豊田・黒田・三好・嶋崎・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	2人	11 (1) 人

前回の改善計画
・リスクマネジメントの研修を行う。発生したその場で複数の職員が即座に検討できるようにする。 ・地域連絡会の開催を掲示する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事故が発生した時点で複数の職員で、すぐに改善できることは行った。 ・地域への参加や啓発は、介護職員には見えてこないなので、報告などが行えればよい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	1	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		6	1	4	11
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	5	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部研修や各委員会の開催する研修に参加できている。 ・職場外の研修も可能な範囲で実施できている。 ・資格取得の研修プログラムも法人で実施している。 ・リスクマネジメントでは予防に意識が向いている ・プライバシーや個人情報の管理は出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・参加させたい研修に参加できなかったことがある。 ・個々の目標に応じて研修計画が立てられていないように感じる。 ・地域の会議に介護スタッフが参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・リスクマネジメント委員会を通じて、もう少し予防に焦点を当てた取り組みが出来ないか、検討してもらおう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 8 日 (17 : 50～18 : 50)

9. 人権・プライバシー

メンバー 豊田・黒田・三好・嶋崎・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	人	1人	11 (1) 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き高齢者虐待の研修、啓発活動を行う。</li><li>虐待、身体拘束とリスクマネジメントは関連性が高いので、併せて研修を行う必要がある。</li><li>職員のストレスマネジメントも引き続き確認していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>虐待研修は行われているが、虐待に至るまでの「不適切な場面」をお互いに注意し合っているが、見落としている場面もあるのではないかと。</li><li>ストレスチェックは実施している。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	3	1		10 (1)
②	虐待は行われていない	6	4			10 (1)
③	プライバシーが守られている		8	2		10 (1)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	7	1	1	10 (1)
⑤	適正な個人情報の管理ができている		10	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>上記項目について、研修の機会があり、また、個々のケースをミーティングで話合えている。</li><li>権利擁護の視点からもプライバシーを守り個人情報の管理は出来ている。</li><li>無理強いすることなく、また、リスクがあるからと言って安易にバッド柵などの使用は行っていない。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ミーティングをフロア内で実施せざるを得ない状況なので、他の方が聞こえている事がある。</li><li>無意識に出てしまう言動が他の職員からみれば不適切に感じられているかもと気づくことがある。また、自分でもやってしまった、言ってしまったと気づくことがある。</li><li>トイレがカーテンであり、プライバシーが保護されているとは言えない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>座学だけの研修でなく、自分たちで考えて、気づいていけるようにしていく。お互い注意をシェアう。</li></ul>	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見  
看護師が常勤となり評価に加わったことは良かった。  
32時間以下の職員の意見を反映する事は出来なのか

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見  
上記同様、看護師が入ったことは良かったが、32時間以下の職員の意見を反映できないのかという意見がある。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見  
目標が具体的でなく、大きすぎたのではないか。事業所評価のまとめがあまり良くないが、課題を持って日々取り組んでいると捉えられる。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

家族のアンケートと職員の自己評価は必ずしも一致しない。今回は家族の評価が良く、スタッフの評価が低かったが、その原因が何か考えることが大切である。

【改善計画】※後日記入

職員全員が事業所評価に関わるのは24時間体制の業務である為、難しいと感じるが、自己評価に関しては32時間以下の職員にも任意で実施する。  
引き続き家族アンケートは継続していく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	1	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	1	
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b>            すぐに防犯カメラの設置が行われた。            山の上で坂が多く、まず、行にくい。</p>
<p><b>【前回の改善計画】</b>            実施した内容を説明し、特に意見はなし。</p>
<p><b>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</b>            入りやすいと言う前に、坂の上で行にくい。</p>
<p><b>【今回の改善計画】※後日記入</b>            地形的な物の改善は難しいが、地域の方々が困った時に相談ができる関係を作っていきたい。その為に、地域の方との会議や課題を共有していく。</p>

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	職員はあいさつできていますか？	7	1	
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	1	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		1

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**  
 地域と関わろうとしていることは理解できる。

**【前回の改善計画】**  
 掲示板の設置、地域の会議への参加を行っている事がわかった。

**【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】**  
 事業所が地域と関わるというのは難しいのではないかと、日々の介護業務以外に地域との関わりを持つように言ってくる国に対して感じる。職員の方はいろいろ外出など行っている事は理解している。  
 事業所より、単に小規模多機能の事業だけでなく、事業所が地域の課題も一緒に考えていけるような仕組みを国は目指している事を説明する。

**【改善計画】※後日記入**  
 引き続き、地域の会議に参加する。また、職員にも具体的に目的を説明していく。運営推進会議に職員が交代で参加する。また、別の小規模多機能事業所の運営推進会議にも参加できるように依頼を行っている。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	3	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	1	
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？		3	5

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b>          閉じ込めていませんか？どっちに答えたらよいのか「いいえ、閉じ込めていません」と思い記入した。</p>
<p><b>【前回の改善計画】</b>          地域への会議に参加しているのであれば、職員がわかるようにする工夫が必要である</p>
<p><b>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</b>          日々の業務の中で、外出など行っているので簡単には行かない。</p>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b>          地域にどのような公的サービス以外（【ボランティアなどの資源】があるか、全員は難しくても対象者を決め）の資源も活用して自宅での生活を支える。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		6	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8		

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b>  事例検討については行えなかった。  地域の方から意見や相談を受けれるようになった。</p>
<p><b>【前回の改善計画】</b>  事例検討については行えなかった。</p>
<p><b>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</b>  運営推進会議で地域の課題や提案がみられた。  事例については個人が特定できないようにする必要がある為、難しい課題がある。</p>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b>  地域からの課題や、地域包括センターからの情報提供なども頂きながら、事例や課題を地域と共有できるように取り組む。</p>

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	5	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

防災計画や訓練を行っていると思うが、実際に見たこともない。事例検討については行えなかった。

【前回の改善計画】

土砂災害に対しての訓練は行えなかった。マニュアルの整備に時間がかかった。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

事業所より、防災計画を行政から立てるように言われており作成を行った。次回の訓練は防災計画についても修正が必要か確認していく。

運営推進会議を訓練の日と合わせて行えればよいのではないかと意見有り。

【改善計画】※後日記入

防災計画の作成及び訓練を行い、修正を行って行く。

運営推進会議に日に、訓練が行えるか検討を行う。具体的には消防署への訓練届が必要であり、場合によっては査察係が同行する事もあるので、必ず実施できるかはわからない。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田 理紗	法人・ 事業所 の特徴	登録人数の割に、通いが少なく、自宅で生活できるようにマネジメントしている。また、医師との連携をきちんと行い、生活状況の報告、診療内容の確認をFAXや診察に立ち会い行っている。
事業所名	高齢者ケアセンター甲南 小規模多機能サービス	管理者	豊田 達範		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	0人	3人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「32 時間以上の職員」という基準通りに実施したが、次年度は看護師と 32 時間未満の職員であっても、実施できるように職員への周知や依頼を行って行く。</li> </ul>	看護師が評価を行った事は良かった。	32 時間以下の勤務の方にも評価できる方法はないのか。	24 時間体制で全員が参加する事は難しいが、自己評価だけでも任意で行って行く。また、引き続き家族アンケートも実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所が不在時の連絡方法などどこに連絡すればよいのかわかりやすい表示を作る。</li> <li>・入りやすいが誰でも入れる。誰が来たかも確認できない。と言う事は防犯上課題となるので、防犯カメラの設置を検討する。</li> </ul>	防犯カメラの設置を行った。	山の上にあるので、まず、徒歩で行くのは難しい。地域の方が困った時にいつでも行けるのか不安がある。	地域の方々と顔の見える関係づくりを行って行く。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに地域の方々に広報できるよう掲示板を設置しました。また、地域の方々にも使用していただけるように取り組みたい。</li> <li>・掲示板を通じて、事業内容を掲示し広報できるようにする。</li> <li>・地域に出向いての認知症啓発事業を積極的に行って行く(年2回程度)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターや本山第三小学校PTAの広報を掲示板に設置した。</li> <li>・認知症の啓発についても認知症サポーター養成講座を行った。</li> </ul>	地域住民の掲示が少ない。相談したくてもしにくい。	地域の会議などに参加し、事業所の内容を知ってもらおうと共に、地域の催し物に積極的に参加する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への会議への参加の都度、職員に伝えるようにする。</li> <li>・地域ケア会議を通じて、困っている方への提案を行って行く。</li> <li>・今後も、月1回程度は地域との交流行事を行って行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターが企画する地域ケア会議に参加した。</li> <li>・職員は管理者が地域の会議に参加しているのは分かったが内容までは分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所づくりへの協力や地域の活動を手伝って行けばよいのではないか。</li> </ul>	引き続き地域との交流行事を行って行く。通いの場だけでなく、自宅で過ごせるように地域の資源を確認していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度に1回は事例検討を行っていく。</li> <li>・運営推進会議が地域ケア会議のようになれば良いと考えているので、地域包括支援センターと協力して開催できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を検討するという目標を達成する事は出来なかった。</li> </ul>	地域住民からの提案も出るようになってきている。	職員が参加できるようにする。また、他の運営推進会議にも職員を代理で派遣するなどし、良い点は取り入れていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで火災を想定した防災訓練のみの実施であったため、土砂災害を想定した防災訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害を想定した訓練は実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を訓練日にするなどして、委員の方がみられるようにすると、具体的にどのように行っているのか理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害を想定した、災害訓練を実施する。運営推進会議を同日に行えるか調整を行う。</li> </ul>